令和２年度前期分授業料免除申請要領

留学生　在学生用

下記に掲げる「１．免除対象者」のいずれかに該当する場合は、本人の申請に基づき、選考の上、授業料の全額又は一部を免除することがあります。免除を希望する者は、下記により申請してください。

１．免除対象者

（１）**令和元年度に授業料免除の申請をした学類生（新２年生～新４年生）で、経済的理由**により授業料の納入が困難であり、かつ**学業優秀**と認められる者（経過措置として支援額を補償）

（２）**経済的理由**により授業料の納入が困難であり、かつ**学業優秀**と認められる大学院生

（３）授業料の納期（前期４月）**前６ヶ月以内（新入生は「１年以内」）**に学生本人が風水害等の災害を受けたことにより**授業料の納入が著しく困難**な場合

（４）前記に準ずる場合で、学長が相当と認める理由がある場合

＊　最短修業年限超過の者は、**特別の事由(病気、留学、大学院生の論文作成等)**がある場合に限り**超過期間１年目**のみ申請をすることが出来ます。

２．申請書類

（１）**授業料免除願**（別紙様式第１）
（２）**提出書類一覧表**（別紙様式３）
（３）**私費外国人留学生の授業料免除等に関する調書**
（４）**本人等の収入状況申立書**
（５）（２）で該当する証明書類、その他本学が必要と認めて提出を求める証明書等

３．受付期間等

受付期間⇒　令和2年3月23日(月)～令和2年3月27日(金)

「学年指定優先日」を設け(院生を除く)、混雑している場合は該当学年を優先します。

新2年生:23日、新3年生:24日、新4年生:25日　先着順:25日26日

【注意】26日、27日は優先日または23日～25日までに申請出来ない方の予備日ですが混雑が予想されます。

※事情により上記期間に申請ができない場合は、学生課で必ず事前に申請書類を提出してください。

受付期間を過ぎての提出はいかなる理由があっても受付けません。

受付時間　⇒　9:00～12:20、13:30～16:20

※社会人の学生には3月25日(水)の17:30～19:00も受付します。

受付場所　⇒　共通講義棟　S棟　S－22教室　(控え室はS-21教室)

４．注意事項

（１）**郵送による申請は受け付けません**ので、必ず申請者本人が受付期間中に受付会場で直接申請してください。

（２）免除を申請した者は、選考結果が発表されるまでの間は、授業料の徴収が猶予されます。結果発表前に**納入された授業料は返還できませんので注意してください**。

（３）**選考結果の発表時期や発表方法については、共通講義棟Ｓ棟１階の学生課掲示板でお知らせします。（結果発表は７月下旬予定）**

（４）**申請書類に不備があると選考対象から除外されます**ので、本要領等を熟読の上、申請書類に不備がないよう注意してください。「授業料免除願」は**令和２年４月１日現在の内容で**記入してください。

（５）選考を適切に行うため、その事情を証明する書類が必要です。なお、提出いただいた個人情報は、授業料免除選考以外の目的には使用されません。

（６）月額１０万円（半期６０万円）以上の給付奨学金を受給する場合は免除対象者になりません。

（７）**大学の予算の都合上、申請者の増減によっては、前回の免除結果と異なる場合もあります。念のため、授業料納入の準備を進めてください。**

＜参考＞　授業料免除の選考基準　昨年度の実施例

下記の「**１．収入基準**」及び「**２．学力基準**」の**両方**を満たしていることが必要です。

１．収入基準（おおよその目安です。免除予算枠を基準該当者が上回ると基準内でも免除にならない場合があります。）

世帯の特別の事情により異なるが、**世帯の年間総所得金額（世帯全員の合計）**が次の収入基準額**以下**であること。

区分 / 世帯人員	学類生		大学院生（修士・博士前期）		大学院生（博士後期）	
	自宅通学	自宅外通学	自宅通学	自宅外通学	自宅通学	自宅外通学
１人	１９５万円	２３９万円	２１０万円	２５４万円	２８２万円	３２６万円
２人	２９４万円	３３８万円	３１８万円	３６２万円	４３２万円	４７６万円
３人	３３４万円	３７８万円	３６２万円	４０６万円	４９５万円	５３９万円
４人	３６２万円	４０６万円	３９２万円	４３６万円	５３５万円	５７９万円
５人	３８８万円	４３２万円	４２１万円	４６５万円	５７６万円	６２０万円
６人	４０６万円	４５０万円	４４０万円	４８４万円	６０２万円	６４６万円

（令和元年度の例）

＊　総所得金額＝総収入金額－①必要経費－②特別控除額（世帯の特別の事情）

①必要経費

〇給与収入者（年金受給者も含む。給与収入者が２人以上いる場合は各人別に行う。給与収入は所得税等控除前の額）

・収入金額１０４万円以下　⇒　収入金額と同じ

・収入金額１０５万円～２００万円の場合　⇒　収入金額×０．２＋８３万円

・収入金額２０１万円～６５３万円の場合　⇒　収入金額×０．３＋６２万円

・収入金額６５４万円以上の場合　⇒　２５８万円

〇給与収入以外の者（商業、農業、その他の職業及び臨時的所得等）

その収入を得るために費やした経費（税申告書の必要経費）

②特別控除額（世帯の特別の事情）

就学者、障害者、長期療養者等がいる場合、母（父）子家庭に該当する場合等に控除されます。

就学者＝小学：8、中学：16、高校：28～60、高専：36～80、専修 17～112、大学：59～144

心身障がい者＝99、母（父）子家庭＝99　　単位：万円

２．学力基準

（１）学類学生

①　１年次生

入学試験の合格者。

②　２年次生以上

基準日現在の修得単位数が下表の**修業年次の標準修得単位数以上**であり、**かつ**、当該修得科目数の**７０％（夜間主コースは６０％）以上が「B」以上**の成績であること。

③　編入学及び学士入学した者については、上記①を準用する。

（２）大学院生

①　１年次生

入学試験の合格者。

②　２年次生

申請時の修得単位数が下表の修業年次の**標準修得単位数以上**であり、**かつ**、当該修得科目数の**７０％以上が「良」以上**の成績であること。

＊　母子家庭、生活保護世帯等については、「学力基準」が若干、緩和される場合もあります**（標準修得単位数を除く）**。

＜修業年次の標準修得単位数（累計）＞※昨年度の例のため変更となる場合があります。

学年 / 学類等	２年次生（１年次修得単位）	３年次生（１～２年次修得単位）	４年次生（１～３年次修得単位）
人間発達・行政政策・経済経営・共生システム理工学類・食農・夜間主	２１	５４	９０
大　学　院（修士課程・博士前期課程）	１６		
大　学　院　(人間発達文化研究科教育実践専攻)	２４		
大　学　院（博士後期課程）	６	１０	

（令和元年度の例）

留学生用

別紙様式第１

授　業　料　免　除　願

福　島　大　学　長　殿

申請者（自筆）	学籍番号	
	氏名（フリガナ）	
	現住所	（〒　　）
	携帯番号	

令和２年度　前期分授業料の免除を許可くださるよう関係書類を添えて申請します。

なお、記載事項に事実と相違があった場合は、授業料免除を取り消されても異議ありません。

１．申請理由（**学生本人**が具体的に記入すること。）

２．休学歴　期　間　　～　　理　由　※　留学・病気・その他（　　）

３．家庭状況　（**本国に居住している人についての記入は不要**、同一生計者の別居者に×印を、○×欄につけること）

	○×欄	続柄	氏名	年齢	現在の職業（勤務先）	給与収入の計（千円）	給与収入以外の計（千円）
本人		本人			学生（福島大学）		
就学者を除く家族		夫					
		妻					

**　　部分は大学記入欄なので、記入しないこと。**

就学者		本人	通学区分	奨学金受給状況			受給年額（千円）				
			※ 1:自宅 2:自宅外								
	○×欄	続柄	氏名	設置区分	在学学校（学年）		通学区分	前年度状況（国立学校就学者のみ記入） 授業料免除状況 前期分	後期分	授業料年額（千円）	
				※ 1:国立 2:公立 3:私立	※ 1小学校 2中学校 3高校 4大学 5高専 6専修学校（高等課程） 7専修学校（専門課程） 8その他 学校名 （ 年）		※ 1:自宅 2:自宅外	1:無 2:全額免除 3:半額免除	1:無 2:全額免除 3:半額免除			
				※ 1:国立 2:公立 3:私立	※ 1小学校 2中学校 3高校 4大学 5高専 6専修学校（高等課程） 7専修学校（専門課程） 8その他 学校名 （ 年）		※ 1:自宅 2:自宅外	1:無 2:全額免除 3:半額免除	1:無 2:全額免除 3:半額免除			
				※ 1:国立 2:公立 3:私立	※ 1小学校 2中学校 3高校 4大学 5高専 6専修学校（高等課程） 7専修学校（専門課程） 8その他 学校名 （ 年）		※ 1:自宅 2:自宅外	1:無 2:全額免除 3:半額免除	1:無 2:全額免除 3:半額免除			
				※ 1:国立 2:公立 3:私立	※ 1小学校 2中学校 3高校 4大学 5高専 6専修学校（高等課程） 7専修学校（専門課程） 8その他 学校名 （ 年）		※ 1:自宅 2:自宅外	1:無 2:全額免除 3:半額免除	1:無 2:全額免除 3:半額免除			
				※ 1:国立 2:公立 3:私立	※ 1小学校 2中学校 3高校 4大学 5高専 6専修学校（高等課程） 7専修学校（専門課程） 8その他 学校名 （ 年）		※ 1:自宅 2:自宅外	1:無 2:全額免除 3:半額免除	1:無 2:全額免除 3:半額免除			

特別控除	母子父子世帯	※ 母無： 死亡・生別（ 年 月） 父無： 死亡・生別（ 年 月）		0:非該当 1:該 当
	障がい者のいる世帯	続柄（ ） ※ 障がい者 ・ 原爆被爆者（障害あり）		
		続柄（ ） ※ 障がい者 ・ 原爆被爆者（障害あり）		人
	長期療養者のいる世帯	続柄（ ） 1か月当たり療養費 千円 療養期間 年 月から ※ 入院・通院・自宅療養		合計（年額） （千円）
		続柄（ ） 1か月当たり療養費 千円 療養期間 年 月から ※ 入院・通院・自宅療養		
	主たる家計支持者の別居	1か月当たり住居・光熱費等 千円		
	災害・風水害・盗難等の被害を受けた世帯	災害内容	被災額 千円	

大学認定	家族数	人	居住地	A:A級地 ~~B:B級地~~		
	独立生計者	1:該 当	生活保護世帯	1:該 当	学力	0:不適格
	申請区分	1:一般 2:家計 3:学力 4:事由 5:事情（家計支持者死亡） 6:事情（災害） 7:事情（その他）			辞退	□（1:有り）

記入上の注意

1．［　　］の欄は大学記入欄なので、記入しないこと。
2．※印は、該当箇所を○で囲むこと。
3．記入内容は、**4月1日現在**で記入すること。
4．申請者及び保護者の欄は、**それぞれ本人が自筆すること。**また、現住所は**実際に住んでいる住所**を記入すること。
5．**「1．申請理由」**は**学生本人**が記入すること。
6．家族の職業は具体的に記入すること。専業主婦、無職等の場合であっても空欄とせず、その旨記入すること

記入いただいた個人情報は、授業料免除選考のために利用され、その他の目的には利用されません。

全員提出

別紙様式３

令和２年度【授業料】免除･徴収猶予申請提出書類一覧表（留学生用）

受験番号または学籍番号	
氏　　名	

No.	提　出　書　類	備　　考	発行所等	該当者欄（該当者に○印付す）			
				本人	夫	妻	他
1	免除願（又は徴収猶予願）	本学所定の様式（別紙様式第１又は第２）		第１回目書類提出済			
2	私費外国人留学生の授業料免除等に関する調書	本学所定の様式		○			
3	提出書類一覧表（留学生用）	本学所定の様式（別紙様式３・この表）		○			
4	本人等の収入状況申立書	本学所定の様式　（配偶者が同居している場合は必ず裏面・配偶者分も記入すること）		○			
5	平成３０年分所得課税証明書または非課税証明書	**令和元年１月現在日本にいた場合（配偶者も含む）　※平成 30 年日本に居住していない場合は提出不要**	市区町村役所				
	【重　要】 ※所得課税証明書の名称は自治体によって名称が異なります。 ※課税額の内訳(所得割額、均等割額) 配偶者控除、扶養控除人員数等の記載があるものを取得すること。						
6	令和元年分の源泉徴収票又は最近の給与明細のコピー	アルバイト従事者は必ず提出すること　（配偶者も含む）	勤務先				
7	アパートの契約書のコピー　※	学生寮・国際交流会館に居住している者は除く	当該者保管分	○			
8	最新の光熱・水道料請求書又は領収書のコピー　※	全員提出	当該者保管分	○			
9	最新の電話料請求書又は領収書のコピー※	全員提出	当該者保管分	○			
10	成績証明書	大学院入学者で日本の大学を卒業した者		○			

注意事項

（１）提出する証明書類については、該当者欄に○印を付すこと。

（２）各種証明書類は申請日の３か月以内の証明のものに限る。

（３）７※アパートの契約書は、アパートの名称、住所、居住者の名前、家賃が確認できる部分をコピーして提出すること。

（４）請求書や領収書は、書類をならべてＡ４判１枚にコピーしたものを提出すること。

記入いただいた個人情報は、選考のために利用され、その他の目的には利用されません。

全員提出

私費外国人留学生の授業料免除等に関する調書

学籍番号＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

氏　　名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

長期履修期間　※院生のみ記入

(有・無　　～　　終了)

１．本人の家計及び生計（基準日の前月の状況を記入すること）

収　入（月額）		支　出（月額）	
仕　送　り	円	住　居　費	円
親戚等の補助	円	食　費	円
奨　学　金	円	医　療　費	円
アルバイト	円	交　通　費	円
	円	光熱水道	円
	円	通信電話	円
	円	国民健康保険料	円
	円	そ　の　他	円
計	円	計	円

（現況の概要）

２．指導教員またはアドバイザー教員の所見

（上記の内容をふまえ勉学意欲、学業成績の見込み、人柄等ご記入ください。）

※PC での記入、または別紙による添付も可能ですが、自署・押印、封緘をお願いします。

平成　　年　　月　　日　（指導教員またはアドバイザー教員）　　印

＊　**前期の基準日は４月１日、後期の基準日は１０月１日です。**

＊　前期申請において**新入生(学類・研究科とも)については教員の所見は不要です。**

家計状況のみ記入してご提出ください。

記入いただいた個人情報は、授業料免除等選考のために利用され、その他の目的には利用されません。

本人等の収入状況申立書（留学生用）

福 島 大 学 長　 殿

受験番号または学籍番号＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

氏　　名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

このたび，福島大学の入学料免除等の出願にあたり、
＊□本人　の収入状況は下記のとおり相違ないことを申し立てます。

１．前年（**令和元年１月～１２月**）にアルバイト等していた場合に１年間の総収入額を記入すること

勤 務 先 名	仕 事 内 容	総受給金額（円）	受 給 期 間
			年　月～　年　月
			年　月～　年　月
			年　月～　年　月
			年　月～　年　月
計			

２．本年（**令和２年１月～１２月**）にアルバイトをしている場合又はアルバイトを予定している場合に、１年間の総収入金額を推算して記入すること。

勤 務 先 名	仕 事 内 容	総受給金額（円）	受 給 期 間
			年　月～　年　月
			年　月～　年　月
			年　月～　年　月
			年　月～　年　月
計			

３．**令和２年度**の仕送りについて**（必ず記入すること）**

続柄＿＿から年額＿＿＿＿＿円（予定額を含む）

注　意　事　項　等

① ＊印の箇所は該当するものに✔を付してください。
② 本人等が期間中に行ったアルバイト、定職などによる全ての収入（奨学金は含まない）について記入してください。
③ 仕事内容は、家庭教師、調理補助、ウェイターなど具体的に記入してください。
④ 源泉徴収票、給与明細書、支払調書等が発行されている場合は必ず提出してください。

記入いただいた個人情報は、免除・徴収猶予選考のために利用され、その他の目的には利用されません。

配偶者の収入状況

※ 配偶者がいる私費外国人留学生は、配偶者の収入状況を下記に記入してください。

このたび，福島大学の入学料免除等の出願にあたり、
＊□配偶者　の収入状況は下記のとおり相違ないことを申し立てます。

１．前年（**令和元年１月～１２月**）にアルバイト等していた場合に１年間の総収入額を記入すること

勤 務 先 名	仕 事 内 容	総受給金額（円）	受 給 期 間
			年　月～　年　月
			年　月～　年　月
			年　月～　年　月
			年　月～　年　月
計			

２．本年（**令和２年１月～１２月**）にアルバイトをしている場合又はアルバイトを予定している場合、１年間の総収入金額を推算して記入すること。

勤 務 先 名	仕 事 内 容	総受給金額（円）	受 給 期 間
			年　月～　年　月
			年　月～　年　月
			年　月～　年　月
			年　月～　年　月
計			

３．**令和２年度**の仕送りについて（**必ず記入すること**）

続柄＿＿から年額＿＿＿＿＿＿円（予定額を含む）

注　意　事　項　等

① ＊印の箇所は該当するものに✔を付してください。
② 本人等が期間中に行ったアルバイト、定職などによる全ての収入（奨学金は含まない）について記入してください。
③ 仕事内容は、家庭教師、調理補助、ウェイターなど具体的に記入してください。
④ 源泉徴収票、給与明細書、支払調書等が発行されている場合は必ず提出してください。

記入いただいた個人情報は、免除・徴収猶予選考のために利用され、その他の目的には利用されません。